

全体目標:

感染症疾患・症候に関して、症状、所見、微生物検査を含む臨床検査を含めて幅広く学び、感染症内科領域の基本的な診療ができる。また、感染管理を学ぶと共に、基本的な微生物学的検査を自分で行うことができる。

個別目標:

	1カ月	2ヶ月以上(再ローテーションを含む) 左記に加えて下記の事項ができる
1	患者の臨床経過および検査の結果から、適切な感染症診療のアプローチを述べるができる。	
2	各種感染症について、ガイドラインに沿った診断および治療を述べるができる。	
3	塗抹検査及び培養検査等で同定された病原体から、治療方針をたてることができる。	
4	抗微生物薬の分類、副作用、使い方を習得する。	
5	以下の検査に関し、①適応の判断 ②結果の解釈ができる。 塗抹検査、抗酸菌検査、培養検査、薬剤感受性検査、抗原・抗体検査、血清検査、核酸増幅検査	
6	適切な个人防护具の着脱を含め、安全な感染対策の下で、感染症疑い患者の診療ができる。	
7	感染対策が必要な症候、疾患に対し、適切な対策を指示できる。	
8	職業感染症予防、代表的な感染症関連法規について述べるができる。	
9	予防接種を含む感染症予防を実施できる。	
10	グラム染色検査を含む緊急微生物検査について実施できる。	

方略

- ・入院患者及びコンサルテーションのあった患者を受け持ち、上級医・指導医の指導のもと診療する。
- ・血液・髄液培養陽性患者をラウンドし、指導医の指導のもと診療に対するコメントを行う。
- ・感染症科外来において感染症科医師の下で研修する。
- ・細菌検査、その他緊急微生物検査、血液培養検査、検体採取、感染対策について感染症科スタッフ等より、指導を受け、実際に行い修練する。
- ・感染症カンファレンス…週1回(火)。感染症カンファレンスに参加し、担当患者のプレゼンテーションを行う。
- ・抄読会…週1回(木)。ローテーション中に最低1回発表する。

評価:

- ・EPOC IIによる評価を行う。

- ・修了時に評価表(研修医の経験内容等に関する自己評価および感染症科の指導体制等に関する評価を記載)を提出。
評価表は感染症科のスタッフ・シニア以上のレジデント, 全てが共有する。
- ・ローテーション中に養成コース長による面接評価を行う。